

会 報

68号

会報

函館の歴史的風土を守る会会報
No.68 H13. 5.10
発行所 函館の歴史的風土を守る会
事務局 函館市五稜郭町43-9
五稜郭タワー株式会社(両角)
電話(0138) 51-4785
印刷所 (有)三和印刷 電話45-0845



第23回チャリティーパーティーに当たって

函館の歴史的風土を守る会々長 浜 島 国四郎

暮以来の大雪、そして記録的な寒気の厳しい毎日です。今日は朝からの天気ではおりましたが、このように大勢の皆さんのお越しを頂いて有り難うございます。北海道教育大学名誉教授の清野先生を実行委員長に、北海道教育大学教授の佐々木先生を副実行委員長にお迎えし、ご指導を頂き、第23回函館の町並みを美しくする新春チャリティーパーティーを開くことが出来ますこと、心からお礼を申し上げます。

又、国の内外では大変なことが毎日次々と起こり、景気も底冷えの続く昨今です。こうした時節柄にも怯らず大勢の方々からチャリティー商品をお寄せいただきましたことに合わせて、心からのお礼を申し上げます。

さて、函館には長年に亘り、その美しい町並みに潤いを与え、歴史的風土の保存に真剣に取り組みながら、大変なご苦勞をしているの方々があります。今年も別掲の方々に「歴風文化賞」を贈呈し、微意を表させて頂きましたことを御報告申し上げ、お礼の言葉といたします。

おめでとうございます!

第18回 (平成12年度) 歴風文化賞に輝いた方々



原風景 トラピスチヌ修道院

明治31年、フランスのウブシー修道院から8人の修道女が派遣され、当時北海道、東北の教会を治めていた函館の司教ベルリオーズ師により創立された女子修道院である。

明治末期から大正までにレンガ造りの本館、園内の施設が完成したが火災により消失した。その後、スイス人のマックスヒンデルにより昭和初期に創建時のデザインを踏襲し再建された。

修道女は人のために祈ることを目的とし、静かな環境の中で規則正しい聖務に日々励んでいる。修道女の祈りの姿は見るできないが、高い塀に囲まれた園内に入ると厳粛な雰囲気につつまれる。

昔から多くの人々に親しまれているトラピスチヌ修道院は函館の原風景であり、ここに宣言する。

この建物は昭和9年に木造2階建の店舗併用住宅として建築された。花かるたとは花札のことであり、幕末からの歴史を持つ児玉商店は花札の北海道地区総代理店であった。玄関上の「花かるた」の看板は明治初年に京都の花札製造元から送られた歴史ある看板であり、一世紀以上経過した現在も明治時代の状態を維持している。現在は酒処「花かるた」として営業しており、地元の人、通勤族から親しまれている。

2階部分の出格子窓、破風・軒先部分、下見板壁等、整った和風の外観となっており、ほぼ創建当初のまま維持されている貴重な建物である。



保存建築物 花かるた (函館市豊川町)



保存建築物 本久商店 (函館市豊川町)

この建物は大正2年に木造2階建倉庫として建築された。酒屋の倉庫として酒、味噌、醤油、五稜郭堀の天然氷等の貯蔵に使用されていた。

土蔵風の木骨モルタル造であり、太い柱、梁を基本に外壁は防火、保温のためにモルタルを厚く塗っている。道路に面した正面の白いボーダー部分はレンガを積みその上からモルタルを塗ったものであり、2階窓回りに一部露出したレンガを見ることができる。昭和57年に創建時の雰囲気そのままに修繕し、現在はテナントとして飲食店が2件営業している。

西部地区における大正初期の重厚で風格のある歴史的建築物として貴重な建物である。

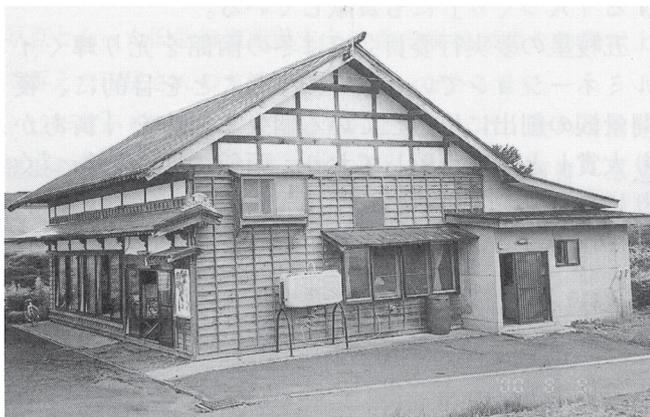
みなさまありがとうございました

第23回 函館の町並みを美しくする新春チャリティー・パーティー
《オークション商品協賛者》

函館山ロープウェイ / (株)五島軒 / カメラのたねざわ / (株)ナシオ函館支店
(株)第一食品 / 五稜郭タワー(株) / ガス・コープ(株) / 近藤商会(株) / 函館トヨペット(株)
三菱電機ライフテック北海道(株)函館営業所 / 日新産業(株) / (株)魚長食品
(株)ムロタ / 大槻食材(株) / (株)内田洋行北海道支社 / (株)カネマル / キリンビール(株)
タランチャーネ / 札幌ウエシマコーヒー(株)函館支店 / N H K 函館放送局
湯川グランドホテル / 花かるた / 五稜星の夢

枝松 和子 / 清野 きみ / 歴風会運営委員一同

(順不同・敬称略)



保存建築物 池田ケイ子邸
(七飯町)

この建物は明治42年に木造2階建店舗併用住宅として、七飯町の現国道5号線沿いに建築された。

窓は防寒のためアルミサッシに変更されているが建物全体は、下見板壁、庇部分の持ち送り等、創建等の雰囲気そのままだと伝えている。昭和前期までは炭や木材を販売、現在は赤松せんべいを販売している。

室内も太い大黒柱や梁、間仕切りの大板障子、箱階段等、昔のままの姿であり、函館近郊の店舗併用住宅を考える上で数少ない貴重な建物である。

この建物は明治中期(蔵 明治22年、主屋 明治27年)に木造2階建店舗併用住宅として建築された。明治から昭和前期までは米屋として営業、蔵は米の貯蔵庫として使われていた。平成12年に構造体には一切手をつけず、創建当初の雰囲気を残しながら全面的に改修し蕎麦蔵としてオープンした。

蔵は現在2階床を取り外し吹き抜けになっており室内の扉や柱には漆が塗られている。主屋は函館の特徴的な上下和洋折衷様式を忠実に再現している。大正時代の屏風や掛け軸もきれいに保存されており、手打ち蕎麦を食べながら当時の雰囲気を感じることができる。



再生保存建築物 蕎麦蔵
(函館市弥生町)

この建物は大正元年木造2階建の保養施設として建築された。大正から昭和前期は製網所の保養施設、その後アトリエとして一時使用されていたが平成10年に、改装、アパート(4戸)とし再生された。

外観は大きな切妻屋根、淡いグリーンの外壁、太い角柱、縦長の窓等、洋風要素の強いモダンな建物である。建築時にはオンドルがあり床暖房設備を備えていた。室内の高い天井や玄関、廊下等も創建時の雰囲気をも十分に伝えている。



再生保存建築物 インターナショナルグットホームアパートメント (函館市新川町)



団体賞 五稜星の夢実行委員会様 (事務局 函館市本町10-13)

平成元年(1989年)から特別史跡五稜郭跡の堀に光り輝くイルミネーションを点灯、五稜星形を浮び上げさせ函館の冬の夜を美しく飾っている。電線の施設、電球の取り付けはすべて市民のボランティアで行い「市民主体」「市民参加」で函館の街を愛する「人づくり」にも貢献している。

五稜星の夢実行委員会では冬の函館を光り輝くイルミネーションでいっぱいにするを目的に、夜間景観の創出に尽力している個人・団体を「街あかり大賞」として表彰しており、函館の明るい街づくりにも貢献している。

高田屋嘉兵衛資料館・箱館昆布館の設立、異国橋の看板設置、銀座通りの柳の復元植樹、海同会館の再生建築物等、長年に亘り函館の歴史研究、西武地区の街並保存に尽力されている。著書「21世紀の函館の街づくり」では未来の函館中心市街地の活性化について様々なすどい提言をしている。

2000年12月には末広町に生涯学習の場としてカルチャーセンター「臥牛館」を開館、物産活動の場として市民に広く開放した。また、館内には著書「大地への献身」を基にした学徒援農の資料展示室を設けるなど、歴史に根ざした積極的な人づくり、街づくりに貢献されている。



個人賞 石塚與喜雄様 (池見石油店代表取締役社長)

歴風文化章選考基準

- ① 建造物自体の貴重性。
- ② 持ち主が長年保存への努力を続けている。
- ③ 景観への寄与。
- ④ 歴史性。
- ⑤ 地域の町並みや社会全般へ波及効果が大い。
- ⑥ 諸々の制約の中で創意工夫が顕著である。

ごあいさつ



実行委員長 清野 きみ

市民の皆さまと実行委員の完璧な運営で、第23回新春チャリティーパーティーを楽しく、意義あるものにして頂きました。今回、柄にもなく実績ある「歴風会」の一大事業であるチャリティーパーティーの実行委員長をお引き受けしましたのは、20年余の長い間、函館の歴史と風土を育みたいという市民運動エネルギー、気概を強く受け止めこの会の原点となった旧北海道函館支庁庁舎の現地保存を新聞紙上で訴えた田尻さんの友情に應えたかったからです。

12年ばかり函館を留守にしていたので、改めて函館歴風会会報「れきふう」を通読しました。年齢・肩書・思想信条にとらわれず、函館の歴史と風土を、かけがえのない財産としたいとする情熱と、多くのつながりを生みだしている様子が、ひしひしと迫ってくる内容でした。と同時に、歴風文化賞を受けられた方々の長年保存への努力、その日常的努力を思うとき、教えられるものが多々ありました。さて、景観や風景は人びとの心象風景となり、あるアジア

の国では、伝統と創造との関係について、調和が崩れると私たちは、伝統に従うとシンポジウムで発言されました。数年前、全国の小学校校歌を集め分析したところ学校が置かれている位置をとり囲む自然をあらわす語が多く使われていました。一番多かったのは山、空、風、特におろしに代表される風は必ずとりあげられ、強い風には、たくましく立ち向かい、穏やかな風にはやさしく接するとあります。さらに、そこに生きる人々の生業、くらしの息遣いが唱い込まれていました。海と波、雲の動き等々、校歌は人々の心に生きていました。今日の旅ブーム、健康ブームリサイクル、防火、芸事、多くの職人を輩出した江戸時代には、人口的には少子高齢社会、ヨーロッパにも学び、ゆったり歩ける街づくり、これが函館の美しさにつながるよう、折り合いを大切にチエと工夫を出しあいましょう。ありがとうございました。

犬に学ぶ人の道



副実行委員長 佐々木 馨

二年ほど前に読んだ「朝日新聞」の「声」欄の記事が今も忘れられない。首都圏在住の主婦が犬フン害に憤慨した話である。いつも繰り返される庭先の不浄。何度、注意しても警告を発しても収まらない不浄。たまりかねて、市役所と保健所に相談したが、取り合ってもらえない。自分の打てる手はすべて打ち、まさに万策尽きたところで思い浮かんだ窮余の一句、「飼い主の生きざま照らす後始末」この句を日頃のペット主はどう受けとめたのであろうか、この川柳一句を最後に苦しみのフン害はピタリと止んだという。童話「北風と太陽」を彷彿とさせるこの川柳は、外からの高圧的な威かくよりも、内奥を洗うソフトタッチの方が人の心をゆさぶることをさりげなく私たちに教えてくれる。

市内のあちこちに、タバコの吸いガラの捨て去り、空きカンや食ベガラの放置を目にするのは珍しくない。こんな場合にも、やはり「～をやめよ」という警告よりも、「飼い主の生きざま照らす後始末」「食べ主の生きざま照らす後始末」の方が効果てきめんかも知れない。

世も改まり、21世紀を迎えた。他者や「公」とのつながりを無視し閉鎖的な自意識に酔う「エゴ」の心にそろそろ別れを告げたいものである。社会的な自己、自己の中の社会性がバランスよく心の中に根づく時代を築いていきたいものである。こうした心操がより良く育てば、街並みを美しく保つ心も培われるに違いない。先人が営々と築いてこられた歴史的な風土を大切に作る心も育まれるに相違ない。

戦後、半世紀を経た今日でもなお、あるべき「日本人の心」は不透明のままである。そんな中で迎えた21世紀の幕開きに、「飼い主の生きざま照らす後始末」は、自己を照らす鏡の句であるように思えてならない。

チャリティーパーティー の運営と感想

運営委員 対馬 誠

第18回歴風文化賞授与式で、第23回チャリティーパーティーを何とか無事に終えることができました。運営にあたっては清野実行委員長、佐々木副実行委員長、並びに会員の皆様の多大なご協力ありがとうございました。

歴風文化賞の表彰にあたっては昨年の夏に会員から推薦のあった候補を運営委員会で話し合い決定しました。紹介文作成のため表彰者の方にいろいろとお話を伺っていると、愛着をもって歴史的な建築物、街並みを守っているという意気込みがひしひしと伝わってきました。

今後も表彰が函館の歴史的街並保存に少しでもつながってもらえればありがたいと思っています。今年も8月頃に推薦のハガキが郵送されますので、伝統的な建築物、ひっそりと眠っている歴史的な建築物などの推薦を宜しく願います。

チャリティーパーティーも新春日舞、アトラクション、クイズ、チャリティーオークションと例年以上の盛り上が



りで盛大に終了することができました。函館にちなんだ〇×クイズは今年で4年目になりますが問題作成の段階でいろいろと感ずることがあります。統計資料を調べていると青森市より函館市の人口が少なかったり、函館の幼年人口が高齢人口よりかなり少ないなどの数字が並んでいて、どうしても元気のない函館に関する〇×クイズが多くなってしまいました。今後の函館を元気付けるには市民が協力同調しながら街づくり人づくりを進めていく必要があると思います。

私自身も函館の歴史風土を大切にしながら、元気で元気ある函館の街づくりに参加し、元気のある函館の〇×クイズを出題したいと思っています。

歴風会

地域づくりで特別賞!! 町並み保存活動が評価

北海道コミュニティ運動協会（河野順吉会長、本部・札幌）は一日、住み良い地域社会づくりに功績があったとして、歴史的な町並みの保存活動を行っている市民団体「函館の歴史的風土を守る会」（歴風会、浜島国四郎会長）に「ふるさとづくり特別賞」を贈った。

歴風会は1978年に結成された。歴史的に貴重な建築物を保存、活用している所有者らを表彰する「歴風文化賞」を選定し、函館の町並み保存に取り組んでいる。

函館市五稜郭町の五稜郭タワーで行われた北海道コミュニティ運動協会の地域づくり運動現地懇談会で、同協会の稗田武四郎理事が浜島会長に賞状と記念品を贈った。稗田理事は「すばら

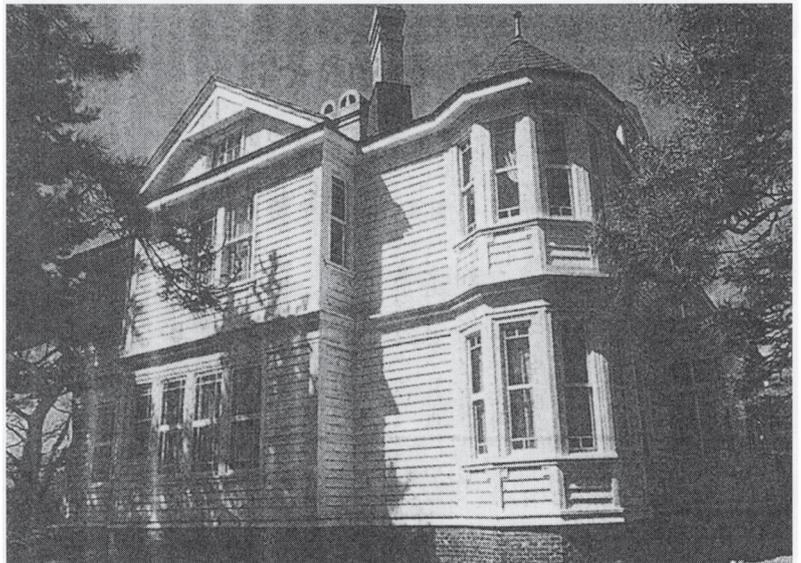
しい町並み保存活動を全道に紹介したい」とたたえ、浜島会長は「受賞を私の運動の後押しとしたい」と喜んだ。



1908年建設 遺愛学院 「旧宣教師館」

～国の重要文化財に指定される～

遺愛学院（赤城泰理事長）の旧宣教師館が国の重要文化財の指定を受けることになった。函館市内では重要文化財に指定されるのは1983（昭和58）年のハリストス正教会以来で五件目同館は1908（明治41）年1月に本館とともに外国人宣教師らの住宅として建設された。基礎をレンガ積みとした木造2階建て（地下1階）延べ288.7平方メートル、外壁は下見板張りで胴ジャバラを回している。屋根はマンサード屋根と切り妻造りで南東隅に塔を上げ、デザイン上のアクセントになっ

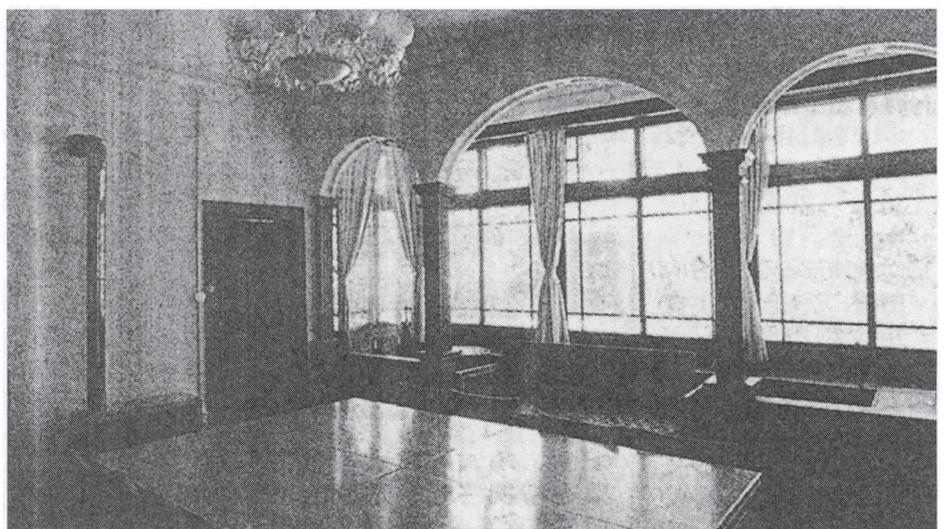


塔屋のスタイルが印象的な旧宣教師館の外観

ている。外壁は白く塗られており「ホワイトハウス」の愛称で親しまれている。60年代後半まで実際に人が居住しており、現在は一部をPTA等の会議室として利用しているほかは、内部もほぼ当時の姿のままで保存されている。

83（昭和57）年に道指定の有形文化財となり、92年に道、函館市、文化財保護振興財団の協力を得て修理保存整備工事を行った。同館は規模が大きく、外部構成や内部空間などが意匠的に優れ、

北海道を代表する洋風住宅建築として高い評価を得た。また建築当初の姿を比較的残している点も貴重と判断された。増田事務長は、「当時の造りがしっかりしていたほか、比較的敷地に余裕があり、校舎建築の支障にならなかったことでここまでホワイトハウスを残せた。今後も末永く維持していきたい」と話している。



当時の内装のまま会議室として使われている内部

事務局だより

- H12. 11. 30
第6回 運営委員会 キヤノン 6:30~
12. 10
第1回 第23回チャリティーパーティー実行委員会
五島軒本店 11:00~
12. 15
平成13年度観光資源保護調査の調査対象選考の
結果について (財)日本ナショナルトラスト
12. 28
平成13年春季幹事会及び文化財保護法50年記念
シンポジウムの開催について
- H13. 1. 1
講演会案内 「環境市民としての配慮行動」
1. 1
カルチャーセンター臥牛館案内 末広町9
1. 16
第7回 運営委員会 五稜郭タワー 6:30~
1. 18
PM3~4:30ホテル函館ロイヤルNPO経営指導
者育成講座受講案内
1. 26
「高田屋嘉兵衛が築いた街と港の歩み」入手 北
海道開発局 函館開発建設部
2. 1
第8回 運営委員会 五稜郭タワー 6:30~
2. 2
第2回 第23回チャリティーパーティー実行委員会
五島軒本店 6:00~
2. 6
文化講演会 大野町文保研 H13/2/18大野町
中央公民館講師久保孝夫氏
2. 8
ながさき阿蘭陀年記念事業 全国街道交流会議
「街道フォーラム2001」の開催案内
H13. 3. 24・25 長崎県農協会館
2. 10
札幌建築鑑賞会10周年・記念講演会「札幌の歴史
的建物に寄せて」H13/3/9
時計台2階ホール 講師 越野 武
2. 16
第23回 新春チャリティーパーティー 五島軒本店6:
30~ 300名
2. 18
文化講演会 子どもと昔ばなし
講師 久保 孝夫氏 大野町文化財保護研究会
3. 1
各種団体等に関する情報のご提供について
函館市まちづくりセンター
3. 6
稲垣 榮三先生(74歳)訃報 3/14谷中天王寺
本堂告別式全国町並み保存連盟より
3. 13
第23回チャリティーパーティー反省会 魚民 6:18

グループだより

- 平成12年
10. 31 有松 第43 有松まちづくりの会
11. 8 渡島コミュニティ
第55号渡島コミュニティ運動委員会
1. 1 北海道NPO情報 11月号
北海道NPOサポートセンター
11. 1 (財)あしたの日本を創る協会
あした通信 第165入手
11. 5 豊島ネット通信 第38号 入手
11. 7 大野町文化財保護研究会
会報 ふんぼけん 第98号 入手
12. 1 北海道NPO情報 12月号
北海道NPOサポートセンター
12. 1 (財)あしたの日本を創る協会
あした通信 第166入手
12. 6 大野町文化財保護研究会
会報 ふんぼけん 第99号 入手
12. 30 あした通信
(財)あしたの日本を創る協会
第167号入手
まちむら自治会町内会情報誌
第72号入手
- 平成13年
1. 1 豊島ネット通信 第39号 入手
1. 1 北海道NPO情報 1月号
北海道NPOサポートセンター
1. 10 連盟ニュースNo1 全国町並み保存連盟
2. 1 北海道NPO情報 立春2月号
北海道NPOサポートセンター
あした通信 (財)あしたの日本を創る協会
第168号 入手
2. 10 札幌建築鑑賞会通信 きーすとーん
第23号 入手
3. 1 豊島ネット通信 第39号 入手
大野町文化財保護研究会
会報 ふんぼけん 第102号 入手
北海道NPO情報 弥生3月号
北海道NPOサポートセンター 入手
町並み 私たちのふるさと伏見第28号
伏見のまちづくりを考える会 入手
3. 10 町並み通信・第3号
若狭熊川宿まちづくり特別委員会 入手
第23回チャリティーパーティー反省会
魚民 6:18
3. 13 渡島コミュニティ運動実践交流研究集会
研究集会実施報告書 入手
3. 14 平成12年度若人のふれあい広場事業報告書
(社)北海道コミュニティ運動委員会入手
3. 15 センターレポート 通巻第129号
(財)北海道建築指導センター 入手
3. 26 北海道のコミュニティ運動 第169号
(社)北海道コミュニティ運動協会入手